



こんにちは。移住相談窓口です。町外から小鹿野町への移住の現状を皆さんに知っていただくため、今月号より「ようこそ小鹿野町へ!」の欄を設けさせていただきました。
このコーナーでは、移住者情報や相談窓口の取組などを発信していきます。



桃春さん

第1回 移住相談員・本協力隊員の移住者インタビュー

第1回は、10年前に移住された桃春さん(33歳)のインタビューです。みどりの村にある村カフェのオーナーさんに紹介していただきました。

桃春さんは、出身は岩手県。小学生男児の母でありながら、ハンドメイド作家でもあります。その作品は、お針子で作った『まり』をキーホルダーや櫛などへと加工した小物でとてもかわいらしいものです。

Q.移住の経緯を教えてください

「直前に暮らしていた横浜では、会社員としてゲーム制作をしていました。結婚を機に主人の実家である般若に移住しました。」

Q.移住直後の生活は?

「田舎ならではの『ローカルルール』に慣れるのに5年かかりました。地区の単位と行事の紐づけが複雑だったり、野焼きを山火事かと間違えたり。田舎は静かかと思いきや蛙の鳴き声やうさぎの不眠になることも。最初は運転免許がなかったので、移動の度にバスの時刻を調べることも苦戦しました。」

これから移住を考える方には、住んでみてわかるギャップを移住前に体験できる機会があると良いですね。

Q.その後の生活について

「ローカルルールはその都度家族に教えてもらい、

運転免許も取得し、町にも慣れてきました。今では、副業で始めた仕事が、本業になりつつあります。クリエイター仲間が自分を育ててくれました。」販路については、通販や都内イベントでの販売も試みたが、行き着いたのは、秩父周辺のマルシェでの対面販売だという。「小鹿野や秩父は、モノ作りに対する理解があり、『これ作るのが大変だったでしょう』と言って買ってくれるんです。」

桃春さんは、新しい風として、町の魅力を活かし文化を担ってくれています。育児の傍らに好きなモノ作りを仕事にしている彼女の姿は、初めの一步を踏み出そうとしている方々の背中を押すかもしれません。移住、そして定住促進を図るためには、「自分の仕事を作ってみよう」という方のサポートもしていく必要があります。

地域おこし協力隊 本奈代子

問合せ●おがの移住相談窓口☎75-1238(小鹿野庁舎・総合政策課内)

地域おこし企業人 石塚からのひとこと

バスツアーはお客様のため、町民の皆さんのため

(株)近畿日本ツーリスト首都圏のグループ会社でありますクラブツーリズム(株)主催のダリア園へのツアーが、去る9月18日から5日間行われ、大変好評でした。

「両神山麓花とみどりを育てる会」「おもてなし課」「地域おこし協力隊の沢田朋輝様」のご尽力の賜物と感謝申し上げます。参加者は5日間で延べ214名(バス8台)という実績でした。入場料以外では、お土産品の購入が活発で、町が取り組む「地域外からの外貨獲得」にいくばくかの貢献ができたと思っております。

来年に向けては、ダリア園とシュウカイドウ咲く札所を巡るコースを提案しました。

現在(10/4時点)来年1月からの尾ノ内溪谷の氷柱を含むツアーを企画中です。

今後はとても難しい事ではありますが、年間通して

実施できるツアーの素材を発掘し、企画に反映させたいと思っております。町民の皆さんにも地元の魅力を再認識していただくきっかけとなればと思います。

また、ツアーのリピーター率の向上は迎える地域皆さんのホスピタリティに依るところが非常に大きいです。ツアーバスやお客様を見かけましたら、おもてなしの心を持ってお迎えくださいますと幸いです。

今後も地域活性化のため、町への誘客に積極的に取り組んでまいります。

問合せ●小鹿野庁舎・総合政策課☎75-1238



~町民ファーストを目指して~ 町政懇談会日程(11月)

10月より町内16カ所で町政懇談会を開催しています。11月の日程は下記のとおりです。ご近所お誘い合せてご参加いただき、皆さんの『声』をお聴かせください。

期日	時間	会場
11月1日(木)	19:00~	原町文化会館
11月5日(月)	19:00~	両神上薄生活改善センター
11月6日(火)	19:00~	長若生活改善センター
11月7日(水)	19:00~	三ヶ原集会所
11月9日(金)	14:00~	両神振興会館(両神庁舎3階)
11月12日(月)	19:00~	伊豆沢集会所
11月13日(火)	19:00~	日尾集会所
11月15日(木)	19:00~	松坂会館
11月19日(月)	14:00~ 19:00~	小鹿野文化センター
11月20日(火)	19:00~	両神振興会館(両神庁舎3階)

※対象区域の指定はありませんので、都合の良い会場でご参加ください。

安心して
ご参加ください!!

託児所を開設します

子育て中の皆さんが安心して町政懇談会に参加できるよう、下記の会場内に託児所を開設します。

お気軽にご利用いただき、町政懇談会へご参加ください。

■11月9日(金)14:00~16:00

両神振興会館 2階娯楽室

■11月19日(月)14:00~16:00

小鹿野文化センター 2階和室

問合せ●小鹿野庁舎・総務課☎75-1221

こんにちは。
町長です。

国保町立小鹿野中央病院が果たす役割



現在の国保町立小鹿野中央病院が開設されたのが、昭和28年5月ですから、それから65年が経過いたしました。

医師が5人で36床のスタートであると聞いております。当時は戦後の混乱がまだ残っ

ているような時代背景があったかと思いますが、医療過疎の小鹿野町に町立病院が開設できたのは、町民の熱い思いとそれを受けた町当局や町議会の大英断であったことが拝察されることです。

町立病院は、その後町民の命と健康を守る中核施設として、機能を果たしてまいりました。その間の医師をはじめ、看護師や多くの医療スタッフ等が懸命の努力をし、町民本位の病院運営に努めて来たところです。

その後時代の変遷の中で町立病院を取り巻く環境も大きく変化し、総合健診センターの開設、病床数の拡大や高度診察機材の導入などが進められました。町の保健や福祉事業の拡充、特に平成12年度から介護保険法も施行され、介護保険事業もスタートしました。

平成14年度には町立病院病床増改築が完了し、一般病床45床、療養病床50床の合計95床となりました。また、同年度には町立病院に保健福祉センターが併設され、「地域包括ケアシステム」が本格稼働いたしました。

た。このシステムは、町民の願いである「住み慣れた地域で最後まで安心して暮らしたい」をかなえるため、保健・医療・福祉(介護)が一体となり、サービスを提供するものです。具体的には、医療介護が必要な人に、それぞれの専門職員(医師、看護師、保健師、ケアマネ、訪問看護師、ヘルパー等)が連携し総合的に係わる体制であり、病気の治療だけでなく、住民の健康づくり、病気の予防、健診、在宅ケアからリハビリテーションまで一貫した役割を果たしており、町立病院はその中核的存在であり、地域の医療機関との連携も図っております。

町では、町立病院を中心に保健・福祉部門が連携し、地域住民の皆様と一緒に取り組んできた様々な事業が功を奏し、埼玉県内で75歳以上の高齢者などの一人当たりの医療費が一番低い町となりました。これからの町民の健康寿命を延ばせるよう引き続き様々な事業を進めてまいります。

なお、今後の町立病院としましては、国の制度改正により療養病床の転換等が求められていますので、地域包括ケアシステムを守りながら、この地域に合った病院のあり方を検討してまいりたいと考えております。

町民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

小鹿野町長 森 真太郎